

★漢方談義★

黒焼きのはなし

◆古い形のエキス剤?◆

太田 順康

黒焼きとは何でしょうか。「黒焼の研究」の著者小泉榮次郎氏によれば、「黒焼とは草木禽獣蟲魚等を探り、土製の容器内に於て可及的空氣の侵入を防ぎ、蒸熱して製する暗黒色炭化性の残骸にして、多くは一種の臭味と光沢を有し、之を火中に投ずれば瓦斯を発生するものあり、中に水及び酒精に多少溶解すべき物質を含有するものを云う」とあります。焙烙という素焼き陶器のお皿のようなものを2枚重ねて中に

黒焼きにする原料を入れ、重ねた隙間を粘土などで空氣が入らぬよう塞ぎ、火中に入れて蒸し焼きにしたものです。漢の時代の医書「傷寒論」にも薬方に黒焼きにしたものが原料になったものが2, 3あります。

焼種散=婦人中種、近隠處、取焼作灰。訳さなくても判りますね。男の人の病気に使います。女性には男性の種を使います。

治馬壁及一切筋骨損方=久用炊單布(使い古したお膳布巾)乱髮(抜け毛)緋帛(紅絹=紅花で染めた絹)などの黒焼きを配合した骨折の薬。乱髮の黒焼きは止血めとして、子宮出血、痔出血などの効果があります。

イモリの黒焼きは「惚れ薬」として有名ですね?相手に判らぬように飲ませないと利かないそうですが。勿論女性にはオスのイモリを使います。(マユツバ)

まじめな黒焼きとしては「伯州散」があります。「出雲風土記」に出てきますが、反鼻(マムシ)鹿角、津蟹の黒焼きを粉末にしたものです。痔瘻や歯槽膿漏、おできの薬で効果抜群で今でも使われています。

黒焼きを作るには大量の炭や変わらが必要なと、結構臭いが酷いのでだんだん作る人が少なくなって手に入りにくくなっています。もぐら=痔、咳、喘息

茄子の蒂=歯槽膿漏、歯肉炎

蝸牛=腎臓、糖尿

猿の頭=精神病など頭の病気

赤とんぼ=咳、百日咳

ミミズ=熱冷まし

まだまだ色々あります。蕁麻疹などはその原因食物の黒焼きが良いそうです。サバによる蕁麻疹はサバの黒焼きが使われています。その場で作る訳にはいかないので作り置きにして使います。

もぐら、猿の頭、乱髮は数年前まで私の店でも扱っていますし、伯州散は今でも在庫があります。またミミズや赤とんぼは黒焼きにせず、乾燥したものを使う事が多いようです。

黒焼きが欲しい人はネットで調べてください。数店舗結構高額ですが出品しています。(つづく)



曜日と時間: 毎週金曜日 11:00~12:00

参加: 無料

指導: 原 業奈美 (理学療法士)

＜7月の予定＞

じめじめとした梅雨の気配を残しながら、今年も暑い夏がやってきます。この時期は食欲も落ちやすいですが、江戸時代は夏の栄養ドリンクとして甘酒を冷やして飲んでいたそうです。甘酒はブドウ糖やアミノ酸、ビタミンが豊富に含まれているため、栄養補給に適した飲み物だと言われています。皆さんも、ご自身に合った食事での夏を元気に乗り切りましょう。

12日(金) 26日(金)

○棒体操でストレッチ

○暑い夏こそ! 有酸素運動で代謝アップ

○頭の体操

5日(金) 19日(金)

松尾池から尾根へ

お知らせ

§ 漢方相談日

(担当 太田順康: 日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師) 今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

8日(月) 22日(月) 29日(月)

§ 7月の休診日

4日(木)

よろしくお願いたします。



スモーカーライザーで解の空氣を検査

☆たばこをやめて、健康を体へ